学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。１年生では、介護が必要な人の気持ちになって介護技術の基本について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

①介護を必要とする人の生活場面に応じた介護技術の方法について興味や関心を持って授業に取り組み、介護技術の演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

自立生活の支援について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活の支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　生活支援の理解	第1編　生活支援の理解 第1章　生活の理解 1　生活とは 2　生活形成のプロセス 第2章　生活支援の考え方 1　生活支援の考え方 2　尊厳の保持と自立支援 3　介護予防とリハビリテーション 4　福祉用具の活用 5　介護従事者の健康管理と感染予防対策	a:生活や生活支援の在り方、介護従事者としての介護観や倫理観などについて理解している。 b:生活や生活支援の在り方などについて課題を発見し、福祉用具や介護ロボットを活用してサービスを提供することの意義や目的について、具体的な事例により考察し、表現することができる。 c:私たちの生活における変化に興味や関心をもち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ
		第3章　生活支援と介護過程 1　生活支援におけるアセスメント 2　ICF の視点にもとづく生活支援 第4章　多職種協働と他の専門職の役割 1　生活支援における多職種協働 2　生活支援における他の専門職の役割	a:意図的な介護や根拠にもとづいた生活支援について理解し、他の職種との協働などについて理解している。 b:ICF における構成要素を活用して利用者の課題を発見し、利用者中心の支援を行うために必要な支援方法を考察して表現することができる。 c:ICF を活用し根拠にもとづく生活支援の方法について興味や関心を持ち、利用者の課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ
	第2編　自立に向けた生活支援	第4章　移動の支援 1　移動の意義と目的 2　移動の支援の技法 3　車いす体験・アイマスク体験(実技)	a:　移動の意義や目的、自立した日常生活を送るために必要な安全・安楽な移動の支援について理解している。 b:　安全・安楽な支援を行うための必要な支援方法や声掛けについて考察し、表現することができる。 c:　車いす体験、アイマスク体験を通じて、相手の立場に立った支援方法について主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 実技ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ

		第1章　居住環境の整備 1　居住環境整備の基本理念 2　快適な居住環境 3　高齢者および障害者の住まい 4　ベッドメイキング（実技）	a:利用者の方の状態や状況に応じた安全で快適な居住環境の整備について基本的知識を理解している。 b:　日本の住宅の特徴を踏まえ、その問題点と解決策や施設における環境整備について考察し、表現することができる。 c:ベッドメイキングの技術を身に付け、目的に合わせた居住環境整備の必要性について主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 実技ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ
2学期	第2編　自立に向けた生活支援技術	第3章　身じたくの支援 1　身じたくの意義と役割 2　身じたくの支援の技法 3　浴衣交換（実技）	a:利用者の方の状態や状況に応じた安全・安楽な身じたくの支援について理解し、自立に向けた身じたくの介護に関する基礎的な技術を身に付ける。 b:機能低下や障がいが身じたくに及ぼす影響について考察し、自立に向けた身じたくの介護技術について表現することができる。 c:　利用者の方の状態や状況に応じた安全・安楽な身じたくの支援について、臥位での浴衣交換の実技において主体的に取り組むことができる。	定期考査 実技ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ
3学期	第2編　自立に向けた生活支援	第2章　家事の支援 1　家事支援の意義と目的 2　家事支援の技法～調理、食品の保存、衛生管理～ 3　家事支援の技法～洗濯～ 4　家事支援の技法～掃除・ゴミ捨て～ 5　家事支援の技法～裁縫～ 6　家事支援の技法～衣類・寝具の衛生管理～ 7　家事支援の技法～買い物～ 8　家事支援の技法～家庭経営・家計の管理～	a:家事支援の具体的な知識を理解するとともに、基本的な技術を身に付ける。 b:　高齢者や障がい者などの自立のための家事支援について新聞記事や事例などを活用して、利用者の方の視点での家事支援について考察し、表現することができる。 c:　介護従事者として、困っている人に対して家事支援を主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度